

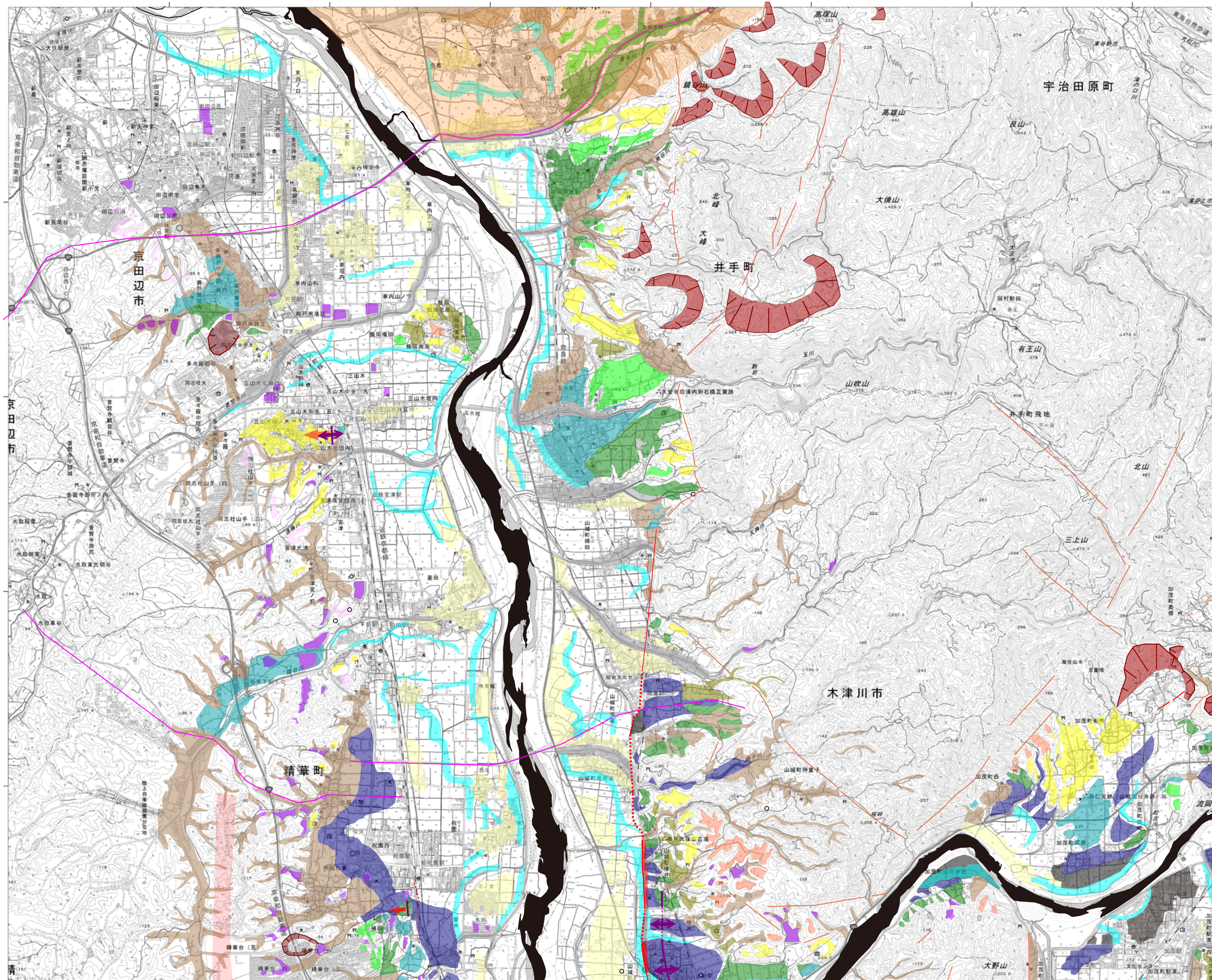
135° 45' 0.00"  
34° 45' 0.00"

135° 52' 30.00"  
34° 50' 0.00"

- 活構造凡例**
- 活断層 (地表に破断変形生じる可能性大)
  - 伏在活断層 (変位基準なし・地表に破断変形生じる可能性大)
  - 推定活断層 (第四紀後期の活動未確定・地表に破断変形生じる可能性あり)
  - 活背斜 (地表に背斜 (引張) 変形生じる可能性大)
  - 活向斜 (地表に向斜 (圧縮) 変形生じる可能性大)
  - 活撓曲 (幅数10m~数100mの傾動が生じる可能性大)
  - 伏在活撓曲 (変位基準なし・幅数10m~数100mの傾動が生じる可能性大)
  - 推定活撓曲 (第四紀後期の活動未確定・幅数10~数100mの傾動が生じる可能性あり)
  - 傾動帯 (幅数100m以上の傾動変形生じる可能性大)
  - 傾動方向 (矢の方向に傾き下がる)
  - リニアメント・古期断層 (地表に断層変位をもたらす可能性低い)

- 調査項目凡例**
- 地形断面位置
  - 反射法地震探査測線
  - 断層
  - 傾斜変換点
  - トレンチ調査地点
  - 調査ボーリング地点重要露頭

- 地形凡例**
- 1930~40年代の水部 (ため池など; その後埋め立てられたもの・現水部を含む)
  - 旧河道 (埋め立てられた川の跡)
  - 自然堤防および破壊地形 (堆積) (洪水時に土砂が堆積した微高地)
  - 天井川 (歴史時代に形成された周囲より河床が高い川)
  - 緩斜面 (土石流堆積物などが堆積して作られた斜面)
  - 低位5面 (完新世後期=数千年前以降にできた段丘)
  - 低位4面 (完新世=約1万年前以降にできた段丘)
  - 低位3面 (更新世末期=約1.5万年前ごろにできた段丘)
  - 低位2面 (後期更新世後期=約2万年前ごろにできた段丘)
  - 低位1面 (後期更新世中期=約4万年前ごろにできた段丘)
  - 中位2面 (後期更新世前期=約8万年前ごろにできた段丘)
  - 中位1面 (後期更新世初頭=約10~12万年前にできた段丘)
  - 高位2面 (中期更新世後期=約20万年前ごろにできた段丘)
  - 高位1面 (中期更新世=数10万年前にできた段丘)
  - 地すべり地形 (過去の地すべりによって作られた斜面)



135° 45' 0.00"  
34° 45' 0.00"

135° 52' 30.00"  
34° 45' 0.00"

**記号**

4車線以上	電子基準点	特別標高点
2車線幅員13m以上	三角点	標高
2車線幅員13m未満	水準点	水
1車線道路	市役所	神社
幅員3.0m未満の道路	東京府の役所	寺院
徒歩	南科役所	高塔
国道及び国道番号	裁判所	風突
都道府県道	税務署	灯台
有料道路	消防署	坑口
有料道路	警察署	温泉
石段	X 交番	噴火口・噴気口
普通鉄道	郵便局	探鉱地
地下鉄	病舎	中学校
特殊鉄道	図書館	小学校
路線の鉄道	公園	城跡
索道 (リフト等)	老人ホーム	記念碑
建設中または運行中止中の鉄道	電波塔	無線所・発電所
橋及び高架部	田	竹林
都府県界	ササ科	雑草
北海道庁界	茶畑	ハイマツ林
市界	栗園	雑地
市区町村界	栗園	荒地
特定地区界	広葉樹林	荒地
送電線	針葉樹林	

普通建築物  
立休交差  
砂利地  
水割  
高層建築物  
基地  
水  
橋  
埋立地  
分層帯  
ダム  
地下の水路  
橋  
堤防  
遊歩道  
遊歩道  
遊歩道

湿池  
砂れき地  
千涸  
おう地 (小)  
おう地 (大)  
土がけ  
雨割  
岩がけ  
万年雪

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル
5. 磁気偏角は西偏約7°30'
6. 図式は平成24年電子地形図25000図式

